

2026 年 10 月 21 日

「RICOH オンプレ LLM スターターキット」の サーバーレンタルプランを提供開始

～ GPU サーバーをレンタルで提供、オンプレミス環境での AI 導入を短納期で実現 ～

リコージャパン株式会社(社長執行役員:笠井 徹)は、オンプレミス環境での生成 AI 活用を導入から運用までワンストップで支援する「RICOH オンプレ LLM スターターキット」において、GPU サーバーを月額で利用できるサーバーレンタルプランを 2026 年 10 月 22 日より提供開始します。

今回提供を開始するサーバーレンタルプランは、「RICOH オンプレ LLM スターターキット」のスタンダードモデルとして提供しているラック型 GPU サーバーをレンタルで提供するものです。リコー製 LLM、生成 AI 開発プラットフォーム Dify(ディフィ)、その他 LLM 動作に必要な各種ソフトウェアをあらかじめキッティングして提供するため、お客様は特別な設定作業を行うことなく、セキュアな環境で生成 AI 活用を開始できます。GPU サーバーをレンタル形式で提供することで、長期間納品待ちすることなく、高額な初期投資を抑えた導入が可能となります。1 年、3 年、5 年等任意のレンタル期間を設定することが可能で、お客様の利用計画に応じた柔軟な活用を支援します。また、「Dify」を活用した AI アプリケーションの構築支援、導入時教育などを通じて、お客様の AI 活用を継続的にサポートします。セキュアなオンプレミス環境で、お客様の業種や業務に合わせた AI 活用を支援し、業務効率化と生産性向上に貢献します。

リコージャパンはリコーグループの実践活動で培ったノウハウとともに、お客様に寄り添い、業種業務に合わせて利用できる「使える・使いこなせる AI」を提供し、お客様が取り組むオフィス／現場のデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援してまいります。

背景

生成 AI の活用が企業の業務効率化や生産性向上の手段として広がるなか、機密情報や個人情報を取り扱う業務では、データを外部環境に送信しないオンプレミス環境での AI 利用ニーズが高まっています。また、利用量に応じてコストが増加するクラウド型サービスに対し、安定したコストで運用できるオンプレミス環境への関心も高まっています。

一方で、オンプレミス環境で LLM(大規模言語モデル)を運用するためには、GPU サーバーの調達リードタイムの長期化や、高性能 GPU の急速な進化に伴う陳腐化リスク、高額な初期投資などが導入の障壁となっていました。

リコージャパン株式会社 <https://jp.ricoh.com/companies/ricoh-japan>

報道関係のお問い合わせ先 リコージャパン株式会社 コーポレートコミュニケーション部

E-mail : zjc_rjccd@jp.ricoh.com

お客様の問い合わせ先

リコーのAIに関するお問い合わせ

<https://promo.digital.ricoh.com/ai/contact/>

サーバーレンタルプランの特徴

1. 短納期での提供が可能

レンタル在庫を活用することで、GPU サーバー調達の長期化リスクを軽減し、AI 活用を始めたタイミングでの導入を支援します。

2. 最新環境への切り替え検討が容易に

お客様は1年、3年、5年等任意の利用期間を選択でき、レンタル期間終了後には次世代機種への更新を選択しやすく、GPU の性能進化に対応した柔軟な運用が可能です。買い取りによる長期利用で課題となる機器の陳腐化リスクを抑え、最新性能の環境を活用できます。

3. 月額利用により導入負担を軽減

GPU サーバーを一括購入ではなくレンタルとして月額費用で利用できるため、高額な初期投資を抑えながらオンプレミス環境での生成 AI 導入できます。そのため、予算計画を立てやすく、導入効果を確認しながら段階的に AI 活用を拡大できます。

今後の展開

リコージャパンは今後、お客様の多様な AI 活用ニーズに対応するため、PoC(概念実証)や導入前検証から本格運用まで、用途や利用規模に応じて選択しやすいレンタルプランおよびハードウェアスペックのラインアップ拡充を進めてまいります。また、リコー製 LLM や Dify を活用した AI アプリケーション構築支援、教育・運用支援サービスの提供を通じて、セキュアなオンプレミス環境における生成 AI 活用のさらなる普及と定着を支援してまいります。

■関連ニュース

リコー、MoE 型マルチモーダル大規模言語モデル「リコー LMM_35B-A3B」を開発

https://jp.ricoh.com/release/2026/1015_1

「RICOH オンプレ LLM スターターキット」エッジモデルに自己改善型 AI エージェント「Hermes Agent」を搭載

https://jp.ricoh.com/release/2026/0910_1

リコー、図表を含む日本語ドキュメントに対する LLM の読解性能を向上させるワークフローを開発

https://jp.ricoh.com/release/2026/0617_1

リコー、マルチモーダル大規模言語モデル「Qwen3.6-Ricoh-27B-20260522」および「Qwen3.5-Ricoh-9B-20260522」を開発

https://jp.ricoh.com/release/2026/0605_1

リコージャパン、ダイフクに「RICOH オンプレ LLM スターターキット」を導入

https://jp.ricoh.com/release/2026/0216_1

リコー、「Qwen2.5-VL-32B-Instruct」ベースのマルチモーダル LLM を開発

https://jp.ricoh.com/release/2026/0108_2

「RICOH オンプレ LLM スターターキット」が「2025 年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞」を受賞

https://jp.ricoh.com/info/2026/0105_1

リコー、「Gemma 3 27B」ベースにオンプレミス導入に最適な日本語 LLM を開発

https://jp.ricoh.com/release/2025/1208_1

リコー、金融業務特化型 LLM(大規模言語モデル)を開発、10 月末から個別提供開始

https://jp.ricoh.com/release/2025/1002_1

リコー、OpenAI の「gpt-oss-120B」をオンプレミス環境でいち早く検証完了、顧客への個別提供を開始

https://jp.ricoh.com/release/2025/0808_2

高セキュリティなオンプレミス環境で生成 AI 活用できる「RICOH オンプレ LLM スターターキット」を新発売

https://jp.ricoh.com/release/2025/0407_1

■関連情報

RICOH オンプレLLMスターターキット

<https://promo.digital.ricoh.com/ai/service/ricoh-on-premises-llm-starter-kit/>

※社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

| リコーグループについて |

リコーグループは、世界約200の国・地域で、AIをはじめとする先進テクノロジーと、長年培ってきたプリンティング領域の強みを基盤に、ワークプレイスにおける業務変革を支援するサービス・ソリューションを提供しています。また、商用・産業印刷事業や、インクジェット技術を応用した新たなソリューションの展開を通じて、お客様の価値創出を支えています(2026年3月期グループ連結売上高2兆6,083億円)。

“はたらく”に歓びを 創業以来90年にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>